

厳選された素材とプロの調理技術でこだわりの味を全国へ

株式会社ニチレイフーズ 白石工場



▲白石工場で生産する家庭用冷凍食品

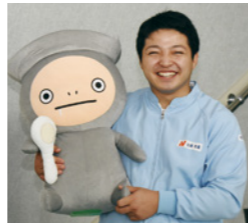
▲業務用新商品「贅沢春巻中華」「本格中華」シリーズ

株式会社ニチレイフーズは、日本で初めて冷凍食品を製造販売した企業で、現在は冷凍食品に加えてレトルト食品や缶詰なども製造販売する食品企業です。白石工場では、春巻、グラタン、ドリア、クリームコロッケなどの冷凍食品を製造。最新の設備と独自に開発した優れた調理技術で全国にこだわりの味を届けています。特に冷凍春巻の生産量は国内No.1で、8月からは専用の製造ラインを増設し、皮、中具、形状を極めた業務用冷凍食品「贅沢春巻中華」「本格中華」シリーズを製造。グラタン、ドリア、クリームコロッケは、蔵王山麓で生産される新鮮な牛乳を直送し、工場内でいねいに作られる直火ルウを使用する自慢の味です。

- 所在 白石市白鳥一丁目16-2
- 代表者 工場長 島崎孝
- 従業員 468人（グループ10,618人）
- 創業 昭和33年（株式会社日本冷蔵 白石工場）

インタビュー

「原料の生産現場を回って、品質の良い原料を仕入れられた時はとてもうれしいです。春巻の原料調達も原料サプライヤーと協力して生産工程の問題を解決しました」と話す佐藤孝嘉さんは業務グループで原料の購買などを担当。また、風通しが良く活性化された職場を目指す会社のモットー「ハミダス」を推進するチームの一員でもあります。「職場では新しい春巻ラインも立ち上がり、サークル活動なども活発で活気があります。これからも丁寧な作業を心掛け、安全安心で美味しい食品を作り続けます」と笑顔で話してくれました。



▲業務グループ佐藤さん

Come join our sports club!!

スポーツ少年団

☎スポーツ少年団本部（生涯学習課内） ☎22-1343

青麻少年野球クラブ

青麻少年野球クラブは平成元年創立の歴史ある少年団の1つです。創立当初から青柳監督が指揮を執り、卒団生はこの27年間で約120人。これまでに甲子園球児も輩出してきました。現在の団員数は11人で、そのうち女子団員が4人。女子団員が多いことやチーム全体が和やかで仲が良いのも同団の特徴です。シーズンオフの冬場には、ドッチビーやぞうきんがけなどで団員間の

親ほくを深めながらトレーニングしています。また、宮城県が管理する河川の清掃や美化活動などを通じた地域貢献活動も行っています。

同少年団では、深谷地区の団員を募集中！ 入団希望者や興味がある方はお問い合わせください。

- 練習日時 日曜日8:30～11:30（月3回）
- 場所 青麻野球場、深谷小学校グラウンド・体育館

毎週楽しく練習しています！

福岡地区以外からの入団希望者も募集中だよ！



▲青麻少年野球クラブの皆さん

団員から一言 団員 松永旭叶くん

野球は練習をきちんとすれば楽しいスポーツだと思います。試合に負けていてもチームのみんなが頑張っているのを見とうれしくなるし、このチームに入ってきたと感じます。



監督から一言 監督 青柳護さん

「協力」（団員仲良く）、「努力」（練習を重ねる）、「実力」（試合で練習の成果を発揮できる）をモットーに27年間指導してきました。子どもたちには、スポーツを通して「あいさつをきちんとできる人」になってもらいたいですね。



東京電力に「白石の状況」を強く訴えていきます

市は、これまでも東京電力株式会社に対し、被害への早期対応と適切な損害賠償を繰り返し要求してきました。

6月5日に同社福島原子力相談室近藤通隆室長が来庁し、当市からの要求に対する回答書を持参しました。内容はこれまでと同じで、要求の大半について明確な回答を得ることは出来ませんでした。

8月26日には、同社東北補償相談センター加藤正人所長が来庁。平成26年度に市が負担した事故被害対策経費についての損害賠償請求書を手渡すとともに、前回以降の賠償の動きや、福島第一原子力発電所の現状などの説明を受けました。除染費用などについて多少の動きはあ

ったものの、これまでと変わらず「原子力損害賠償制度の枠組みの下で対応したい」との回答に終始。風間市長は、この事故の責任の所在がどこにあるのかを踏まえた対応を強く要求し、誠意ある回答を申し入れました。

これからも市は、「白石の状況」を強く訴え、損害賠償を求めていきます。



▲東北補償相談センター加藤所長などから回答書の説明を受ける風間市長

福島原発事故による損害賠償請求研修会・個別相談会を開催します

県では、仙台弁護士会・原賠ADRセンターと連携して被害者の方々に支援しています。

- 日時 11月19日（木）13:00～16:30
- 場所 中央公民館第2研修室
- 内容 ①研修会（原発事故による損害賠償請求、和解仲介の申立てなど）、②個別相談会（定員10人程度、申込順）

- 申込方法など 参加申込書は放射能対策室、市役所などに備え付けています。 ※詳細は「放射能情報サイトみやぎ」(http://www.r-info-miyagi.jp/r-info/) をご覧ください。
- ☎宮城県環境生活部原子力安全対策課事故被害対策班 ☎022-211-2340 ☎022-211-2695 gentaij@pref.miyagi.jp

Monthly Consultation

定例相談

相談種別	日時	会場	電話
人権擁護 行政 無料法律 農家	10月15日（木） 10月9日（金）	10:00～15:00 10:00～15:00 10:00～12:00	市役所2階 第2会議室 市役所3階 第3会議室 農林振興センター
こころの相談	10月7日（水）	13:30～15:30	健康センター（要予約） 健康推進課 ☎22-1362
障害者	10月14日（水）・28日（水）	13:00～15:00	市役所3階 第3会議室 福祉事務所 ☎22-1400
補聴器巡回サービス	・リオン：10月7日（水）・20日（火） ・ブルーム（旧ワイデックス）：10月27日（火）	13:00～14:00	市役所1階 東側和室

*平成27年11月のこころの相談は17ページに掲載しています。

相談種別	日時・会場・問い合わせ先など
いじめ相談（アライン）	いじめ問題等対策室（市役所4階 教育委員会内） i-line@city.shiroishi.miyagi.jp【24時間メール受け付け】 ※電話相談（☎22-1350）も実施しています（毎週月～金 8:30～16:30）。
家庭児童相談	総合福祉センター 毎週月～金 8:30～16:00 ☎22-1400
高齢者総合相談（事前連絡必要）	①地域包括支援センター（総合福祉センター内）：☎22-1466 ②在宅介護支援センター茶園：☎25-9955 ③在宅介護支援センター八宮：☎24-5222 毎週月～金 8:30～17:15
青少年相談	青少年相談センター（市役所4階） 毎週月・火・木・金 8:30～16:30 ☎22-1342（内線445）
消費生活相談	消費生活相談室（市役所1階生活環境課内） 毎週月・水・金 9:00～16:00 ☎22-0783
DV・セクハラ相談（事前連絡必要）	男女共同参画相談支援センター（ふれあいプラザ内） 毎週月・水・金 9:00～17:00 ☎22-6035 ※電話相談も実施しています。
障がい者虐待通報	仙南地域障がい者基幹相談支援センター【24時間電話受け付け】 平日：☎0224-51-5361 夜間・休日：☎080-3326-1788 ※県南生活サポートセンターアサンテ内（大原町）。平日は福祉事務所（☎22-1400）でも受け付けています。